

希望・民進 5月にも新党

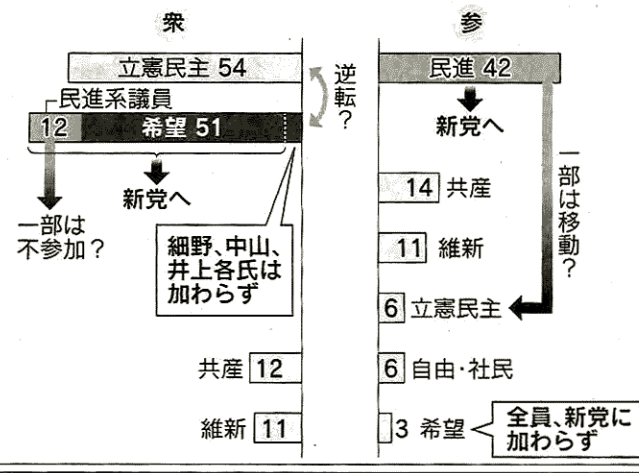
55人なら衆院野党第1党

希望の党の玉木雄一郎、民進党の大塚耕平両代表は9日、国会内で会談し、5月中の新党結成を目指し、協議を始めることで合意した。2017年の衆院選前に分裂した民進党勢力を結集し、政権批判の受け皿をめざす。衆院で立憲民主党を上回る55人以上の会派となり、野党第1党になれるかが焦点だ。新党の規模は今後の国会を左右する。

協議開始で代表合意

党首会談後、玉木氏は「として安倍政権後の姿を国会内で記者団に「野党」しっかりと示さないとい

新党の人数次第で衆院の野党第1党が代わる可能性も



協議開始で合意し、記者会見する民進党の大塚代表①と希望の党の玉木代表（9日、国会内）

両代表は党幹部からなる新党協議会を設け、党の綱領や基本政策などを説明した。民進党出身の大半の議員が了承した。

けない」と強調。大塚氏も「民主主義と国民生活を守り、政権交代可能な政治体制を一刻も早く構築する」と述べた。

た。今後、党名なども詰め、5月の大型連休明けに結党大会を開く段取りを描く。民進党の増子輝彦幹事長は9日の記者会見で「民主党の原点にか

れない情勢だ。岡田克也常任顧問が代表を務める衆院会派「無所属の会」の議員がどの程度、新党に加わるかが焦点になる。岡田氏は「一人ひとりの出処進退の問題だ」と語り、新党への参加を明言していない。参院議員には立憲民主党への参加を検討する議員がいる。野党が国会で存在感を示せないのは、衆参両院で野党第1党が異なることも大きい。衆院では立憲民主党が野党の窓口として国会対策を仕切るが、参院の野党第1党は

玉木氏は「より強固で、より大きなかたまりとして新しい政党を速やかに立ち上げ、スタートを切るしかない」と訴えた。分裂した野党が存在感を発揮できていない現状への焦りをにじませた。

民進党も分裂が避けられ、参院の野党第1党は

た。今後、党名なども詰め、5月の大型連休明けに結党大会を開く段取りを描く。民進党の増子輝彦幹事長は9日の記者会見で「民主党の原点にか

民進党だ。国会運営で野党間に生じている「ねじれ」が、衆参の野党の連携の妨げとなっている。「衆参で野党同士の意思疎通がうまく取れていない」。民進党幹部は、学校法人「森友学園」への国有地売却問題や自衛隊の日報問題など、相次ぐ安倍政権の不祥事にもかかわらず「効果的な追及ができていない」と不満を漏らす。希望と民進

た。今後、党名なども詰め、5月の大型連休明けに結党大会を開く段取りを描く。民進党の増子輝彦幹事長は9日の記者会見で「民主党の原点にか

民進党だ。国会運営で野党間に生じている「ねじれ」が、衆参の野党の連携の妨げとなっている。「衆参で野党同士の意思疎通がうまく取れていない」。民進党幹部は、学校法人「森友学園」への国有地売却問題や自衛隊の日報問題など、相次ぐ安倍政権の不祥事にもかかわらず「効果的な追及ができていない」と不満を漏らす。希望と民進

民進党だ。国会運営で野党間に生じている「ねじれ」が、衆参の野党の連携の妨げとなっている。「衆参で野党同士の意思疎通がうまく取れていない」。民進党幹部は、学校法人「森友学園」への国有地売却問題や自衛隊の日報問題など、相次ぐ安倍政権の不祥事にもかかわらず「効果的な追及ができていない」と不満を漏らす。希望と民進